

●●● 全国堆肥センター協議会の活動状況 ●●●

群馬県堆肥生産利用促進協議会の活動報告について

群馬県堆肥生産利用促進協議会事務局
(社団法人群馬県畜産協会 角橋則孝)

はじめに

本県は関東平野の北西部に位置し、東西95km、南北119km、総面積6,363km²である。県土の約3分の2は丘陵山岳地帯で占められ、山間部では首都圏の水がめが多く点在しており、坂東太郎である利根川をはじめとする河川の源流地域となっている。気象については内陸性気候で特に寒暖の差も激しく、人間のみならず飼養される家畜からみても決して住みやすい環境条件となっていない。

このような状況下で、群馬の農業は農業粗生産額全国17位の位置にあり、生乳が4位、豚5位、肉用牛13位の畜産部門順位となっている。

このため、本県は畑作地域が少ないため、家畜排泄物の流通処理実態に苦慮している場面が多くみられ、今後、堆きゆう肥の流通を考えた広範囲な課題の解決に努め、使う側と堆肥センター側との利用促進対策を講ずることが重要となっている。本協議会が平成13年5月に設置され、間もないところではあるが、その主な活動状況について紹介する。

1. 設立経緯及び事業実施方法

群馬県においても平成13年度から県畜産主務課主導のもと、「群馬県堆肥生産利用促進協議会」の名称で「堆肥の利用促進」に重点を置き設立された。

今更、いうまでもないが、当堆肥センター機能強化推進事業(堆肥センター協議会)は、「堆肥センター」の機能強化に特化した事業であるため、本協会がいくつか実施している、畜産環境保全関係の支援事業等と明確な区分を行い、効率的かつ効果的な成果が得られるよう実施を図ることが、堆肥センターはもとより個別経営に対する最善の支援策である。本県においても残念ながら、堆肥センター組合等の計画申請内容とその後がどうなったのか、または組合活動や堆肥の流通実態がどうなっているのか把握されておらず、補助事業実績の整備に止まっているのが現状である。

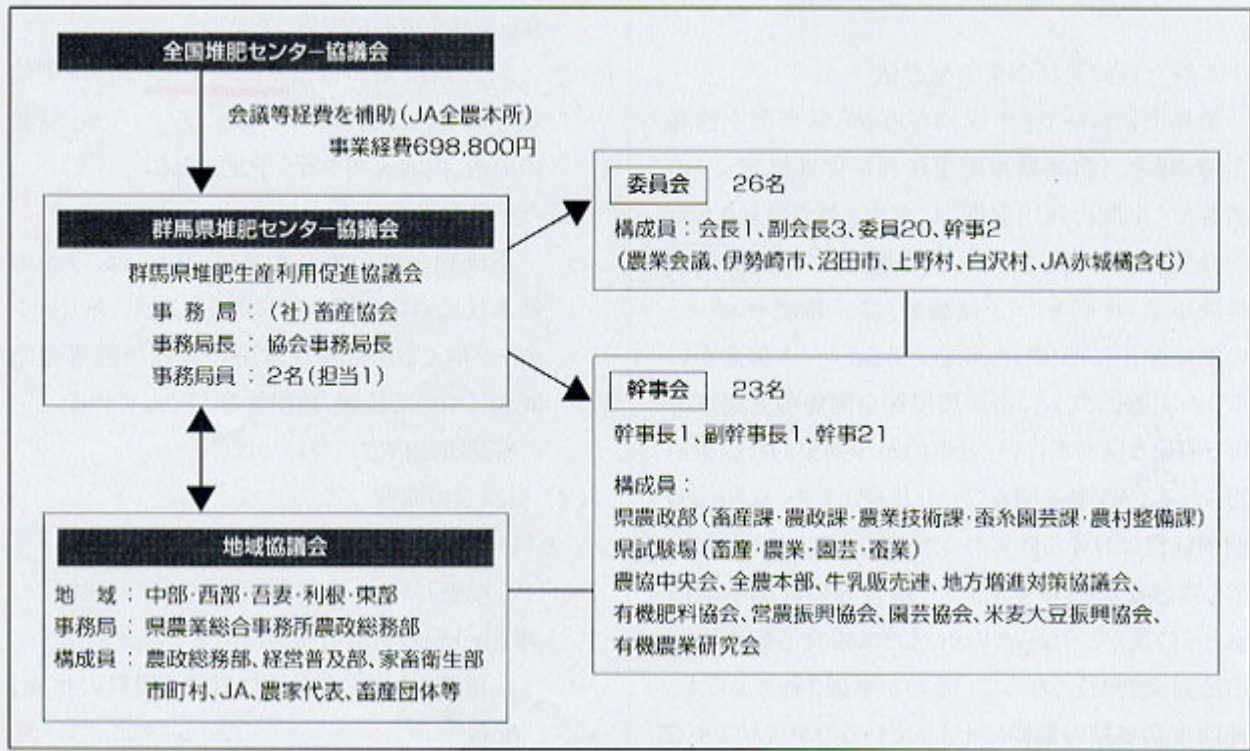
このことから本協議会では、その堆肥センターの経営実態や家畜排泄物から生産される堆肥の流通実態について不足している情報の収集、堆肥の流通促進にかかる啓発、堆肥センターの経営改善方策等の用務を中心に地域協議会等とともに事業の推進を図ることとしている。

2. 協議会の活動内容等

(1) 推進体制

本協議会は、堆肥生産・利用する側の県農政部各課・試験場、堆肥センターを有する自治体及び農業・畜産の計26団体で委員会を構成している。幹事会は23団体である。推進フロー図は表のとおりである。

表 群馬県堆肥生産利用促進協議会組織図



(2) 初年度実績

平成13年度については地域協議会(前橋・高崎・中之条・沼田・太田)5ヶ所の設置、中部地域堆肥生産利用研修会(堆肥成分分析の実施)、そして、地域ごとの堆肥生産及び利用実態(耕畜意向調査)など、今後の協議会運営の基礎となる業務を中心に実施した。

また、(社)畜産協会ホームページ上に堆肥情報等について掲載しているところで、今後、情報の更新、内容充実を行う予定である。

(3) 今年度の事業計画

平成14年度の事業推進については、今後の基本柱について重点的に図ることとし、堆肥センターが抱える運営及び堆肥の流通実態等の諸課題について協議、検討することとしている。

事業実施内容については、

(ア) 協議会の開催

(1) 県協議会及び地域協議会の開催

(2) 堆肥センター協議会(情報交換)の開催

(イ) 堆きゅう肥の利用情報等に関する普及活動

(1) 堆肥センター会員等に対する資料の作成、配布

(ウ) 良質堆きゅう肥生産技術の普及・啓発

(1) 堆肥利用促進に係る相互間の情報交換会開催

(2) 堆肥センターの稼働実態調査(57ヶ所)

(3) 西部地域堆肥利用研修会

(4) 堆肥の広域流通を促進するため、近県協議会と意見情報交換会開催等について、各地域協議会及び関係団体職員ととともに会議及び指導等について実施を計画している。

終わりに

畜産生産側のみならず、農業生産の持続的な発展向上を図るためには農業の自然循環機能の維持増進により、環境と調和のとれた農業生産の確立が図られるようにしなければならない。さらには、昨今の農産物の産地不正表示等に対する消費者の不信感、応対や一部の農産物にみられるような輸入急増から国内農業の構造改革が早急に求められていることから、生産現場等にお

いて生産性や品質の向上等に資する的確な技術指導、生産現場から流通情報、小売りまで明確な情報を消費者に提供することが従来にも増して高まっている。

このことから、本協議会では堆肥センター協議会事業にそい「堆肥センターの生産現場で滞った堆肥を如何に、使ってもらえるのか(耕畜連携)」を軸に、堆肥の生産と利用拡大に向けた取り組みをもって、一助に資することとしたい。

なお、3戸以上の堆肥センターについては、本協議会(事業)の対象となりうるが、今後、個人堆肥センターに対して、何らかの手当てが必要となっている。

そこで、既存事業である県主務課が実施する「資源循環型畜産確立対策事業」において、堆きゅう肥関係の課題について十分な討議、検討等が可能であり、それ以外の堆きゅう肥及び土づくり関係事業と明確な区分を行い、対処する必要があると考えている。最後に、本事業経費の取り扱いについて要望ですが、当事業(業務)を実施する上で、必要とする経費についてはできる限り助成されることを期待して、活動報告としたい。

群馬県中部地域堆肥共励会(第1回)を開催。

堆肥共励会の審査結果等は以下のとおり。

- 審査結果表
- 成分分析結果表
- 実施要領
- 品質判定基準
- 原料サンプリング基準

堆肥を利用される大切な皆さんへ

- 堆肥の取引については価格・輸送方法等とを打ち合わせの上、当事者間の責任において直接取引をするようにお願いします。
- 堆肥情報については、平成13年3月1日現在(集計時)で、既に内容は変更の場合があるので詳細については確認のうえ取引をお願いします。

http://gunma.ln.go.jp/tahi/5_pig.htm - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り メディア 履歴 メール 印刷 編集

アドレス(A) http://gunma.ln.go.jp/tahi/5_pig.htm

リンク Hotmail の無料サービス Windows メディア Windows リンクのカスタマイズ

資材等	バラ	単位	袋詰め	内容量	配達範囲・条件	配達時のバラ	配達時の単位	配達時の袋詰め	配達時の内容量	特殊肥料No	備考
	¥15,000	4t	W0				W0				
	W0		W0				W0			770	価格は応相談。配達なし。
	¥5,000	2tダンプ1台	W0		新里村、粕川村、大間々町		W0				
	¥6,000	2tダンプ1台	W0			¥6,000	2tダンプ1台				
	¥4,000	t	W0			¥40,000	10tダンプ(20m3)				
	¥4,000	1m3	¥400	30kg	伊勢崎全JA16支所	¥4,000	1m3	¥400	30kg	976	
			¥500	20kg	価格+25円/1袋		50~100袋			744	55ふん
			¥400	20kg	町内			¥400	20kg	1012	
	¥10,000	2tダンプ1台	W0		新造町(延野内)	¥12,000	2tダンプ1台			774	種部費3000円/クズ30
カ					近隣可						
					取りに来て欲し						
1	¥2,500	1 m3			村内全域、桐生広域	¥12,000	2tダンプ1台				マニュアルより切り取りし、1tの堆肥づくりを実施して

ページが表示されました

インターネット

群馬県中部堆肥共助会 12月19日 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 お気に入り メディア 履歴 メール 印刷 編集

アドレス(A) http://gunma.ln.go.jp/gunmatk/ent/news/kyorekai.htm

リンク Hotmail の無料サービス Windows メディア Windows リンクのカスタマイズ

堆、有無、臭気などで審査する例からみると見方が分かれたようである。品質のばらつきは比較的小さかったようである。

平成13年度堆肥センター機能強化事業(農畜団地成)の一環で、畜産農家から生産された堆肥についての品質・評価等の向上を図るため、本年度より事業を開始することにした。

また、来年度以降、西部、吾妻・利根、東部管内で実施することになっている。

堆肥共助会の審査概要等は以下のとおり。

- 審査結果表
- 成分分析結果表
- 実施要領
- 品質判定基準
- 試料サンプリング基準

ページが表示されました

インターネット